

ロケット雲を撮る

600 キロ彼方の遠望

11 月 29 日の夕方に、H2A ロケット 43 号機の打ち上げが行われました。今回は、太陽がまだ西空に残る日没直前の打ち上げで、当地（三重県松阪市）からの直接目視は期待薄でしたが、背面から太陽光が当たる逆光になるため、ロケットの航跡が雲になって現れることに期待大といった感じでした。そして今回も自宅マンションのベランダにカメラをわらわらと立てて、双眼鏡を構えて待つというスタイルで打ち上げを待つことにしました。



ベランダでカメラが右向け右をしている状況

さて、打ち上げを待つときには、時刻に正確を期すため、種子島での作業の進行状況をチェックする必要があります。しかし、今回は、JAXA による WEB での中継は無く、民間ベースの LIVE を見ながらの待ち受けとなりました。

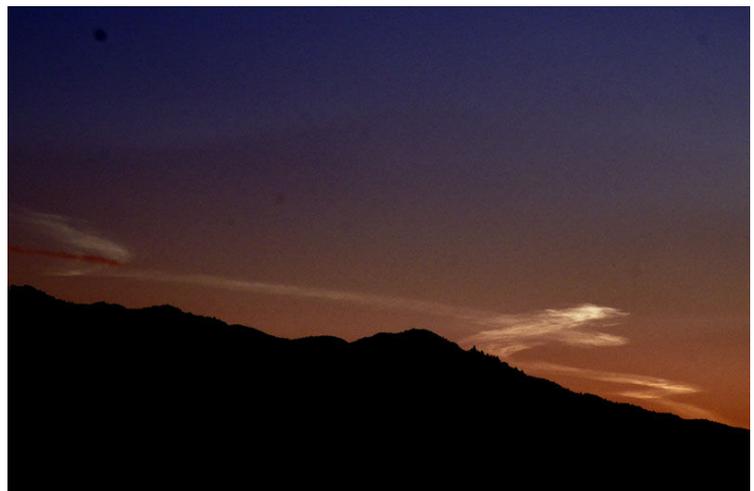
そして打ち上げ時刻の 16 時 30 分。この時点で、太陽は山影に隠れました。我が家からは、SRB を切り離れたあたりから地平線上に姿を現すことになっているはずなのですが、西空は明るいまままで状況は厳しくて、ロケットの飛翔コースにだいたい見当をつけて双眼鏡で探したものの、その姿を見ることはできず、航跡も確認することはできませんでした。

さらにロケットが飛び去った後、カメラを待機させてインターバル撮影を継続しておいたところ、十数分経つと、

やがて西空が赤く染り、西の低い空に徐々にうねうねと長くたなびいた飛行機雲のようなロケット雲が見えてきました。暫く眺めていると、蛇のような雲はゆるやかに形を変えながら南の方に流れていきます。雲の行く方向に少し小高い山があって、あわや遮られそうになりましたが、なんとかぎりぎり山のシルエットにかぶさるような形に雲形が変化して行く様子が見えて面白い光景でした。その後、太陽の高度が低くなって、大気の高層にも日があたらなくなると、ロケット雲は暗いシルエットとなり、ついに見えなくなっていきました。

結局、今回は、夜光雲のような虹色に光る雲はみることができなかったのですが、H2A ロケットの本体は水しか排出しないので特徴的なスペクトルを放つような原子が高層大気に殆ど放出されなかったのかもしれませんが。その後も、すっかり暗くなってから、もしかして 1 周してくるロケットが見えないか、ベランダにカメラだけ据えて追いかけをしましたが、結局何も写すことはできませんでした。

何はともあれ、今回はロケット雲がみえたことで収穫であります。打ち上げの時間帯や方角、ロケットの種類により、そのたび毎にいろいろなイベントがあるので、ロケットの打ち上げはなかなか目が離せません。



ロケット雲 NikonMF105 mm NikonD5100

半影月食を撮る 結局は張り付きになってしまった件

11月30日の夕方に半年ぶりの半影月食が起きました。半影月食は月が地球の影をかすめていく現象なので（的が大きいため）、比較的頻度が高い（半年に1回くらい）ことや、変化の乏しい地味な現象であることが相まって、あまり興味をそそるものではありません。しかし、天文雑誌等で天文イベントとしての紹介があると、なんとなく気になって、観望せずにはいられなくなるのが星屋の性なのかなと思います。

今回の月食は、月出頃から始まり宵のうちにかけて進行するというので、できるだけ不精をしようと、ベランダに赤道儀を据えてシャッターはタイマーに任せて自動で連続的に写真を撮っていくことにしました。ところが、最初のうちは天候も良くて快調に進んでいたものの、そのうちに空全体にベールがかかってくるかと思う間もなく薄雲が頻繁に通るようになり、やがて大きな雲も現れて、写真の露出を合わせる必要からリビングとベランダを頻繁に行き来することになりました。

結局、薄雲で月がおぼろになり、半影の状況もわかりにくかったうえ、結果的にカメラを調整するのに追われ、妙に疲れる天文現象でした。



Pentax75ED 直接焦点 NikonD5100
北側（右上側）が少し暗くなっています

リーズナブルな画像処理ソフト

これまで画像処理ソフトとして PhotoShop Elements を使用してきたのですが、非力さは否めず、かといって本物？の PhotoShop は使用頻度から考えていかにもコスパが悪いのでどうしたものか、かねがね思案しておりました。そんなことから、16bitの画像がレイヤーを重ねて処理できるソフトは無いものかWEBを探しておりましたところ、Serif Europe 社の Affinity(アフィニティ)Photo というソフトを見つけました。ほとんど評判を聞いて

Affinity

たことがないので、半年ほど躊躇しておりましたが、買切り価格で6千円＋税が、さらにブラックフライデーで30%引きになっていたので先日にととう買ってしまいました。

早速インストールして使ってみると、PhotoShopと同じというわけにはいきませんが、なかなか軽快かつ直感的に使用できていいかんじです。なんでも NikCollection も使用できるらしいので、ちょっと期待しています。

編集後記

11月17日の野口宇宙飛行士の国際宇宙ステーションへの出発のあたりから年末にかけて、宇宙開発関係のイベントが目白押しになっています。そういった話題の中、テレビやウェブで情報を得るだけでなく、実際に目で見たり写真に撮ったりすること

に挑戦すると、これらの出来事が一層に身近に、宇宙が近いものを感じられます。ただ、いささかマニアックな世界になるのが難点ですが。

Kz_Wada 和田一人 Kazuto.wada@nifty.com